

講演会

カンムリウミスズメ 人との共存を目指して



先着200名様にかわいい缶バッジ進呈

会期：2023年11月25日(土) 13時30分～17時

会場：常三島けやき（地域連携）ホール

徳島市南常三島町2丁目1番 徳島大学 常三島キャンパス

**主催：日本野鳥の会徳島県支部
公益財団法人日本野鳥の会**

入場無料

**後援：環境省中国四国地方環境事務所四国事務所
徳島県、牟岐町、生物多様性とくしま会議
NHK徳島放送局、JRT四国放送、徳島新聞社
朝日新聞徳島総局、毎日新聞、読売新聞徳島支局**

絶滅危惧種であり天然記念物である海鳥のカムリウミスズメが海部郡牟岐町の沖合島嶼部を繁殖地としています。近年、その繁殖地が天敵により侵襲を受けていることが懸念されています。牟岐町の宝物であり地域資産であるカムリウミスズメと共存し続けて行くには何が必要なのでしょうか。本講演会では、カムリウミスズメの保護や研究に携わる3名の専門家をお招きしました。カムリウミスズメについての理解が深まり、とるべき行動の指針を考える機会になれば幸いです。

プログラム 2023年11月25日土曜日 13時30分～17時

はじめに 環境省中国四国地方環境事務所四国事務所からご挨拶

第1部：「牟岐のペンギン、カムリウミスズメって何？」

演者 公益財団法人日本野鳥の会自然保護室 田尻浩伸室長

第2部：「牟岐町のカムリウミスズメ、過去・現在・未来」

演者 北九州市立自然史・歴史博物館名誉館員 武石全慈先生

第3部：「枇榔島のカムリウミスズメを見続けて36年」

演者 日本野鳥の会宮崎県支部 副支部長
NPO法人宮崎野生動物研究会副理事長
門川町文化財保護審議委員 中村豊先生

おわりに 徳島県からご挨拶

会場：常三島けやきホール

(徳島大学常三島キャンパス地域連携ホール)



(徳島大学公式ホームページより転載改変)

大学構内駐車場は、
原則使用禁止ですので、
公共交通機関をご利用ください。

